

わが国において2016年に0歳から19歳までで慢性透析療法を受けている患者は188名で、全透析患者の0.05%ときわめて少ないが、多くの患者が、小児医療の進歩によって予後は改善し、成人に達するようになってきた。しかし、小児科から成人科領域への紹介・移行は、紹介状一枚で簡単に済むものではない。患児の受診や服薬の中止などが起こることも多い。このような繊細な移行期的重要性を成人科領域の医療スタッフにも知ってもらいたく本号の企画を行った。小児の場合、身体的にも精神心理学的にも“成長”ということが重要となる。それで、成長障害対策と精神心理的サポートおよび看護をそれぞれ別稿立てし、成長に大きな影響を与える栄養についても一稿を設けた。

現在、腎移植の約20%を占める先行的腎移植については腎代替療法の選択のなかで触れてもらい、腹膜透析、血液透析、腎移植のそれぞれの現状についてそれぞれの専門家に解説をお願いした。近年、急性腎障害から慢性腎不全への移行が目まぐるしく注目されている。小児で急性腎不全発症頻度が一番高い新生時期急性腎障害と急性腎不全の現状についても述べてもらった。小児慢性腎不全の一番の原因である先天性腎尿路異常(CAKUT)における管理についても書いていただいた。

現時点での小児期・思春期腎不全におけるベストな概説を目指したつもりである。いずれも力作である。本号が悩める小児期・思春期の腎不全患者および医療者に役立つことを望みたい。

(伊丹儀友)

2018年(Vol.34)特集のご案内

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------|
| No.① 透析患者のがん対策〔特大号〕 | No.⑥ 透析室の感染症へどう対応するか〔特大号〕 |
| No.② 透析患者のリハビリテーション—訓練と支援 | No.⑦ 〔増刊号〕透析医療と合併症 キュア&ケアガイドブック |
| No.③ キュアとケアをつなぐナーシングスキル | No.⑧ 透析患者の余暇とレクリエーション |
| No.④ 求められる透析液清浄化—改訂された透析液水質基準の意味するところ | No.⑨ 小児腎不全—移行期医療の管理 |
| No.⑤ 透析患者の体力と認知力を考える—患者と家族が満足するケアとケア | No.⑩ 透析患者の人生の最終段階への関わり方 |
| | No.⑪ 透析食の調理者と透析患者 |

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.34 No.9

©2018年8月10日発行
定価：(本体2,400円+税)

年間予約購読料は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center Inc. ©2018, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話(03)3814-8541